「私の仕事」

健康福祉部健康課
牧 真望 さん（保健師）

市役所で働く保健師は、赤ちゃんから高齢者まで、幅広い年代・分野への対応が期待されています。

主に、赤ちゃん訪問や集団健診といった母子保健分野を担当。明るい将来へのきっかけづくりに貢献できる保健師の仕事は、専門職としてやりがいがあります。

採用：平成 28 年度
配属歴

平成 28 年	健康福祉部健康課

保健師の仕事

母子保健分野を担当しているので、お子さんとその家族に関わることが多いです。生まれた子ども一人一人の家に伺う赤ちゃん訪問は、保健師ならではの業務。赤ちゃんの成長を保護者と一緒に確認できるのは、この仕事の魅力だと思います。

実際に会うことで、分かることや、直接お話しすることもあるので、訪問や集団健診は重要です。少しでも安心感につながればと、最善の方法をその場で考え、判断します。判断に迷うときは、上司や同僚に相談しますが、親切に教えてくれる雰囲気があります。

赤ちゃん訪問時の必須アイテム

データの整理や訪問記録など、自分が思っていたより事務仕事が多いです。しかし、業務や行動を振り返ることにつながるので、現場での支援に合わせて、必要な仕事と感じています。

保健師は、相談業務が多いので「しっかり話せること＝しっかり聞けること」が大切だと思います。また、さまざまな人と関わるため、個人情報の管理や責任感が必要な仕事です。

休暇・休日

妊婦さん向けの両親教室や、成人・高齢者向けの健康づくりに関する教室などで、月に1回程度休日出勤があります。

産休、育休中の職員もおり、子どもがいる人への配慮があります。「お互いさま」の雰囲気がしっかりとあり、理解があります。

今後の目標

コロナ禍で生活が大きく変わる中、抱える困り事が、今まで以上に複雑化している印象です。相談に当たるときに、その方の状況や背景を正確に捉え、必要な支援につなげられるよう視野を広くすることが目標です。

受験を考えている人へのメッセージ

地域の身近な保健師として、その人が健やかに育ち、その人らしく生活するために支援できるのは、保健師ならではだと思います。市役所で働く保健師に関心のある方は、ぜひ受験を考えてみてください。

保健師「あるある」を聞いてみました

- 薬局に行くと、新しい育児用品がないかと売り場に足を運んでしまいがち
- 運動をしなければ、と思ってしまいがち
- 食事は、塩分・脂質・食べ過ぎを気にしがち
- 子ども向けのキャラクターに少し詳しい。かも。

発行：伊勢市総務部職員課